知財業務における生成AI 6モデルの戦略的使い分けガイド

日常的な大量処理には低コストな中位モデルを、重要判断には上位モデルを投入し、精度向上とコスト削減を両立。

モデルの役割階層と得意領域

上位モデル：高度推論と判断支援

検索拡張や対立論点の整理を担当

モデル	主な担当知財業務
Claude Fable 5.2 GPT-6.2 Astra / Carbon	検索観点設計、拒絶理由応答比較、FTO争点整理



中位モデル：日常業務と一次処理

特許分類や初稿の一次処理を担当

モデル	主な担当知財業務
GPT-6.2 Sol / Claude Opus 5.5	新着特許分類、要件対比表・明細書初稿の作成
Gemini 4 Neon	国際符号・部材、実験表・測定条件の抽出

実務フローにおけるモデル連携

先行技術調査：拡張から絞り込み

検索観点設計

特許分類や初稿の抽稿一次処理、校出を担当

出願起案：初稿作成と代替構成検討

初稿に上位の代替構成案を反映。

明細書初稿の作成

中間応答・FTO：多角検証と方針決定

最適的正なIPポートフォル

先行技術調査：拡張から絞り込み

観点拡張後に候補文献を絞り込む。

出願起案：初稿作成と代替構成検討

初稿に上位の代替構成案を反映。

中間応答・FTO：多角検証と方針決定

補正案比較と対立反論を多角検証。

Gemini Notebook